



[oral care information]

口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーションに関するご案内

当院では、様々な治療により起こりうる口腔のトラブルを予防し、原疾患の治療が進みやすいように口腔外科の早期受診を勧めています。

口腔ケアの重要性

口腔内は常に色々な菌が繁殖（唾液 1ml 中に約 1～100 億個の菌が存在）しています。特に手術／化学療法／放射線療法の前後には、菌の数を減らしておくことが重要です。歯科衛生士による専門的な口腔ケアを実施することで、以下の効果が期待できます。

- 術後の肺炎の予防
- 口腔内の細菌が原因となる感染症の予防
- 化学療法・放射線療法の副作用（口内炎・口腔内の痛み・味覚の変化）の予防



摂食嚥下リハビリテーションの重要性

病気や手術の影響で、飲み込みの機能が低下することがあります。これを放置すると、脱水、栄養障害、誤嚥、誤嚥性肺炎、窒息等につながる可能性があります。必要に応じて、口腔外科の歯科医師・言語聴覚士・歯科衛生士が連携し、飲み込みの機能の評価やリハビリテーションを実施いたします。それらを実施することで、以下の効果が期待されます。

- 肺炎や誤嚥の予防
- 入院期間の短縮
- ADL(日常生活動作)の向上



これらは、**治療の一環として医科担当医の判断で実施するものです**

手術 / 治療内容や患者さんの状態によっては、実施しない場合もございます。詳細に関しましては、介入時に患者さまの状態に合わせてご説明いたします。

お会計について

口腔ケアおよび摂食嚥下リハビリテーションは、医科の治療とは別に歯科の診療報酬として算定されます。そのため、医科の診療費とは別に歯科の診療費が請求されますので、あらかじめご了承ください。